

「 早くなおるといいな 」

愛知県 豊田市立大林小学校 3年 ^{おおもり}大森 すず

夏休みに広島けんに住むおばあちゃんの家に行きました。7月6日、広島けんでは大雨がふり、山がくずれたり、川があふれたりして、たくさんの人が亡くなりました。わたしも、小学校に入るまで広島けんに住んでいました。自分が住んでいた町がひがいにあい、ニュースや新聞にのっていておどろきました。

毎週ならいごとで通っていた道路がこわれて通れなくなっていました。たくさん雨がふり、川があふれ道路をくずしていました。すごい雨のりょうがふったんだなと思いました。先生が近くに住んでいたの、だいじょうぶか心配になりました。

わたしの親せきのおじさんは天応という所でお好み焼き屋をしています。そこに行くとき、山から流れてきた木や土砂がせん路にたくさんつもって山のようになり、電車が通れなくなっていました。電車がのれないなんて、学生や仕事の人などは、大へんだろうなと思いました。電車が通れないので道路は、大じゅうたいでした。

車のまどから外を見ていると、たくさんこわれた家が見えました。わたしの身長より高い所まで家のかべに土砂の流れたあとがついていました。2階まで土砂の流れたあとがついている所もありました。こんな所まで土砂が上がっているなんておどろきました。川のそばには砂にうまっている車がたくさんありました。たくさん人や車が大雨で川に流されたそうです。家族や友だちが亡くなってかわいそうだと思います。わたしもかなしい気持ちになりました。

おじさんのお店につくとお店の中はお客さんでいっぱいでした。前の日まで、お店を休んで、ボランティアをしていたそうです。近所の家のがれきをかたづけたり、雨で流れてきた土砂をシャベルで取りのぞいたり、あついで毎日1ヶ月間ボランティアをつづけていたそうです。本当は、ボランティアをつづけるつもりだったけど、地元の人から

「はやくお店を開けてほしい。」

と、言われたからこの日から開けたそうです。お客さんのほとんどは地元の人で、ひがいにあっていてなみだを流す人もいたそうです。親せきのおじさんは、

「おいしいごはんを食べて、少しでもよろこんでもらうためにお店を開けた。」

と、言っていました。自分もひがいにあったのに自分よりほかの人のことを考えていてすごいと思いました。

わたしのおばあちゃんの家は、こわれた所もなく、水道が止まることも、停電にもならなかったの、ほっとしました。でも、おばあちゃんの家すぐ近くの山がくずれているのが、おばあちゃんの家2階から見えました。そこでは何人も人がしんでしまったそうです。山がくずれて土の色が丸見えになった所が大きかったので、とてもびっくりしました。

大雨の日の事をおばあちゃんに聞くと、

「今までに見た事もないくらい大雨が大きな音をたててふって、すごくこわかったよ。」

と、言っていました。

わたしのおじいちゃん、おばあちゃん、親せきはみんなだいじょうぶだったけど、家族がしんでしまったり、家がこわれてしまった人がたくさんいます。みんなつらくてかなしいと思います。わたしは、おこづかいから、500円ぼきんしました。わたしも、親せきのおじさんのように、自分よりもこまっている人の事を考えられるようになりたいと思います。もう二度とこんな事にはなっ
てほしくないです。